

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公表番号】特表2003-535173(P2003-535173A)

【公表日】平成15年11月25日(2003.11.25)

【出願番号】特願2002-500602(P2002-500602)

【国際特許分類】

C 08 L	69/00	(2006.01)
C 08 K	3/00	(2006.01)
C 08 K	5/51	(2006.01)
C 08 K	9/04	(2006.01)
C 08 L	27/12	(2006.01)

【F I】

C 08 L	69/00
C 08 K	3/00
C 08 K	5/51
C 08 K	9/04
C 08 L	69/00
C 08 L	27:12

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月20日(2008.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

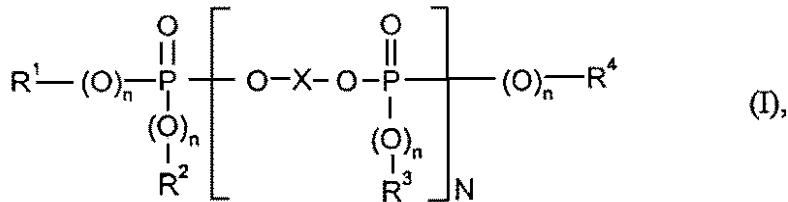
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 A) ポリカーボネート70~99.5重量部、
B) 下記式(I)で表されるリン化合物0.5~18重量部、および
C) フッ素化ポリオレフィン0.01~0.7重量部

を含有する、半透明のポリカーボネート組成物。

【化1】



(式中、R¹、R²、R³およびR⁴は、互いに独立して、C₁~C₈-アルキル、あるいは場合によりアルキル、好ましくはC₁~C₄-アルキルで置換されたC₅~C₆-シクロアルキル、C₆~C₂₀-アリールまたはC₇~C₁₂-アラルキルを表し、nは、互いに独立して、0または1を表し、Nは、0.1~10までの数を表し、およびXは、炭素数6~30の单核もしくは多核の芳香族基、または炭素数2~30の直鎖もしくは分枝の脂肪族基を表し、これらはOH置換されていてよく、かつ8個までのエーテル結合を有していてよい。)

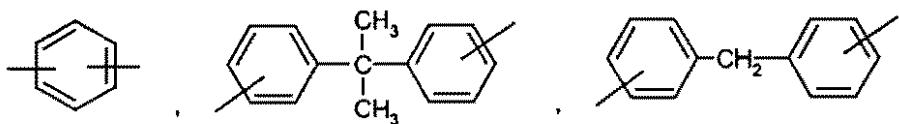
【請求項2】 少なくとも1種のビニル(コ)ポリマーとの凝集混合物の形態またはプレコンパウンドもしくはマスター・バッチの形態の粉末として添加されたフッ素化ポリオレ

フィンを含有する請求項1に記載の組成物。

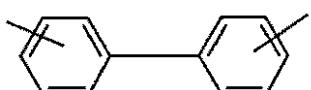
【請求項3】 前記Nが0.7~3を表す式(1)で表されるリン化合物を含有する請求項1~2のいずれかに記載の組成物。

【請求項4】 式(1)中のXが以下の基を表す請求項1~3のいずれかに記載の組成物。

【化2】



または



【請求項5】 各成分を混合してコンパウンド化する請求項1~4のいずれかに記載の組成物の調製方法。

【請求項6】 成形物品および成形品の製造のための、請求項1~5のいずれかに記載の組成物の使用。

【請求項7】 請求項1~5のいずれかに記載の組成物から得られる成形物品および成形品。